

## 合格体験記

私の進学先は、東京国際大学の経済学部現代経済専攻です。英語や経済学を学び、将来は故郷である福島の復興に貢献したいと考え、この大学を志望しました。私は中学3年生から東京国際大学への進学を考えており、ここを目指そうと本格的に決めたのは高校1年生の時です。2年生の夏休みにはオープンキャンパスにも行き、体験授業を受け、進学後のイメージを膨らませました。進学先を決める際に一番心配だったのは、成績についてでした。正直中学生の頃の私は、勉強に前向きとは言えない生徒でした。しかし、将来のことや進学のことをしっかり考えるようになり、勉強の大切さを悟り、日々の授業にも積極的に取り組むよう意識を変えました。すると、高校では順調に成績を伸ばすことができました。

また、受験する上で、大変だったことが2点あります。1つ目は「出願に関する手続き」で、2つ目は「面接練習などの試験対策」です。まず、出願手続きについてですが、全部自分でやらなくてはなりません。私の場合、web出願だったのですが、「個人情報登録」「顔写真登録」「活動報告入力」「出願書類入力」「出願登録」といった手続きを短期間に行わなければなりません。さらに、先生に書いてもらう「推薦書」や「調査書」も必要となるため、自分でスケジュールを管理して、ミスや遅れが無いようにするのがとても大変でした。出願前の私は1日に10回は確認していたと思います。次に試験対策についてです。試験は志望理由書などの書類審査と面接試験でした。志望理由書は800字も

書くため、作成する時期はずっと志望理由について考えていました。思いついたことはその場でスマホにメモすると忘れないのでおすすめです。面接試験は30分くらいで実施されました。「志望理由について」「学校生活について」「大学での学びについて」などを聞かれました。私は10回以上面接練習をしましたが、それでももっと面接練習をやっておけばよかったと思います。夏休みの面接練習では、出来るだけ早く入退室などの基本的な作法をマスターしてください。何度もやって体で覚えてください。また、「志望理由」をしっかりと伝えるのは大前提で、「自分の長所や短所をきちんと理解し」、「大学で何を学びたいか」をしっかりと整理しておいてください。

最後に、進路活動全体を通して皆さんにアドバイスしたいことが3つあります。1つ目は「高3の1学期は絶対に気を抜かない」ということです。進路が本格的に関わってくる重要な時期なので、ここで気を抜いたり手を抜いたりすると、非常に危険です。2つ目は「2年の3学期から進路モードになって意識を変える」ということです。「高3になってからでいいや」と思っているといけません。今から授業への意識を変えておいてください。3つ目は「高校で頑張ったこと」を見つけておいてください。「部活」「検定」「成績」「ボランティア」など、何でもいので「これを頑張った」ということを見つけてください。無い人は今から何とかしてください。進路活動は人生に関わる本当に大事なことなので、気を抜かずに、全力で頑張ってください。

## 東京国際大学

東京国際大学  
経済学部現代経済専攻

関根 在輝

(令和3年度卒業生)



## 太田医療技術専門学校 作業療法学科

佐藤 桃香

(令和3年度卒業生)



私は、群馬県にある太田医療技術専門学校の作業療法学科に合格しました。私が進路を決めた理由は、家族が脳の病気で倒れた際に、治療してくれた作業療法士の懸命な姿を見て、自分もこういう仕事につきたいと思ったからです。学校を決めるにあたって、3年生になった頃からオープンキャンパスに参加しました。勉強する上で、わからないことなどを丁寧に教えてくれそうな雰囲気だったのでこの学校に決めました。私は、公募推薦方式で受験しました。試験内容は、面接と筆記試験でした。受験にあたって、面接練習をたくさん行い、一般常識問題集もたくさん解きました。私が、2年生にアドバイスでき

ることはいくつかあります。まず、色々な書類を記入しなければならないので、字を丁寧に書く練習をし、書類は早めに用意すると良いと思います。1年生の頃から評定平均を気にして、良い成績をとったほうが後々楽です。また、テストの成績はもちろん、授業態度などにも気をつけたほうが良いと思います。また、面接練習はたくさん行ってください。練習していなかったことを聞かれることもありますが、多く練習していれば落ち着いて答えることができます。当日は緊張しますが、入室する前にひと呼吸するとかなり落ち着きます。頑張ってください。

私は100円SHOPの「DAISO」を運営している株式会社大創産業から総合職で内定をいただきました。3年生の春頃に就職することを決め、6月頃から本格的に就職先を探し始めました。限られた時間で、たくさんある求人票の中からもう一度会社を探すのは正直とても大変でしたが、先生に相談し、何とか会社見学に行く2社を選ぶことができました。

会社を決める前にやっておいて良かったことが2つあります。1つ目は既に仕事をしている身近な大人に話を聞くことです。私はアルバイト先の店長の話をよく聞いていました。求人票を見ているだけではわからないこともあると思います。実際に働いている人の話を聞くこ

とによって「働くということはどういうことか」など具体的な働くイメージが付きやすくなります。2つ目は複数の会社を比べることです。そうすることで、働く上で自分が重要視する条件を改めて確認することができ、どの会社が自分の求めている条件に合っているかを客観的に見ることができるからです。

また、2年生のうちをやっておいた方が良かったと思うことは正しい言葉遣いのマスターです。試験には面接が必ずあります。「面接試験本番になればできる」と思っているでも実際はできません。今からでもいので、意識して日常の言葉遣いを綺麗なものにして生活してください。最後に、進路実現させるために、ぜひ充実した高校生活を送ってください。

## 株式会社大創産業

加藤 まや

(令和3年度卒業生)

